令和2年度 札幌市立柏丘中学校 部活動に係る活動方針

1、部活動の意義

- ・部活動を通して、人格の完成を目指し、将来、平和で安全な社会を築きあげる一員として活躍する資質を備えるための場とする
- ・心身ともに健康で生きていくために、体験的、経験的活動を通して、精神的成熟を促す機会とする

2、開設する部活動

野球部 サッカー部 ソフトテニス部 陸上部 バasketボール部 バドミントン部
卓球部 バレー部 吹奏楽部 美術部 ラグビー部

※中体連引率のみの特別活動部の設置は、年度毎に検討する。今年度は、剣道部、柔道部、水泳部、体操部の4部活とする。

3、運営のための体制整備

- ・部活動振興会を設立し、全教員・職員の共通理解のもとで活動が行われるように努める。また、会則、細則、約束事を保護者及び生徒に周知し、活動基準に基づいて運営する。
- ・技術指導だけでなく、生活指導の場としても考えると共に、大会結果などの報告を通して、部活生徒を応援する取組も行う。

4、指導・運営に当たっての留意点

- ・安全への配慮
⇒生徒の心身の健康管理、事故防止を徹底し、事故等の発生時の対応手順について確認する。
- ・バランスのとれた活動
⇒知・徳・体のバランスを考慮し、学ぶ力や豊かな心、健やかな体の育成を目指した活動とする。

5、部活動活動基準

①少なくとも月に1回は、学校としてすべての部活動の休養日を設定する。

⇒生徒の負担を考え、学校行事や定期テスト前、または局常任委員会などの生徒会活動が活発に行われる日に、月に1回を基本とし、少なくとも年12回を設定する（月行事予定に明記）

②毎週、土曜日または日曜日のいずれかを休養日とする。大会、コンクール参加等で休養日を設定せずに活動した場合には、休養日を他の日に振り替える。

⇒大会、コンクール参加による休養日の振替は、土日・平日に行うものとする

⇒天候、または何らかの都合で土日両日実施した場合は、別な土日で振り替える

※大会、コンクールとは、中体連や中文連、社会的認知されている協会等が主催するもの、または公式に地域行事に招かれて演奏する場合とする

③少なくとも週に1日は、平日に休養日を設定する。

⇒各部署で年間・月計画を立てて、振興会で集約する

④通常の練習時間は、平日長くとも2時間程度とする。

⇒部活動数が多く、体育館割り当ての日数が少ない現状があり、2時間程度の練習時間さえ、確保できる日が少ないのが柏丘中学校の実態

6校時 15:45～18:50 5校時 14:50～18:50

の時間の中で、準備・片づけの時間を除いて、2時間程度の練習時間を設定する

⑤土日、祝日、長期休業期間中の練習時間は、長くとも3時間程度とする。

⑥長期休業期間は、オフシーズンを設ける。期間は、学校閉鎖期間以上の日数を想定している。ただし、大会等の日程に応じて、全ての部活が統一されるものではない。